

TOPICS

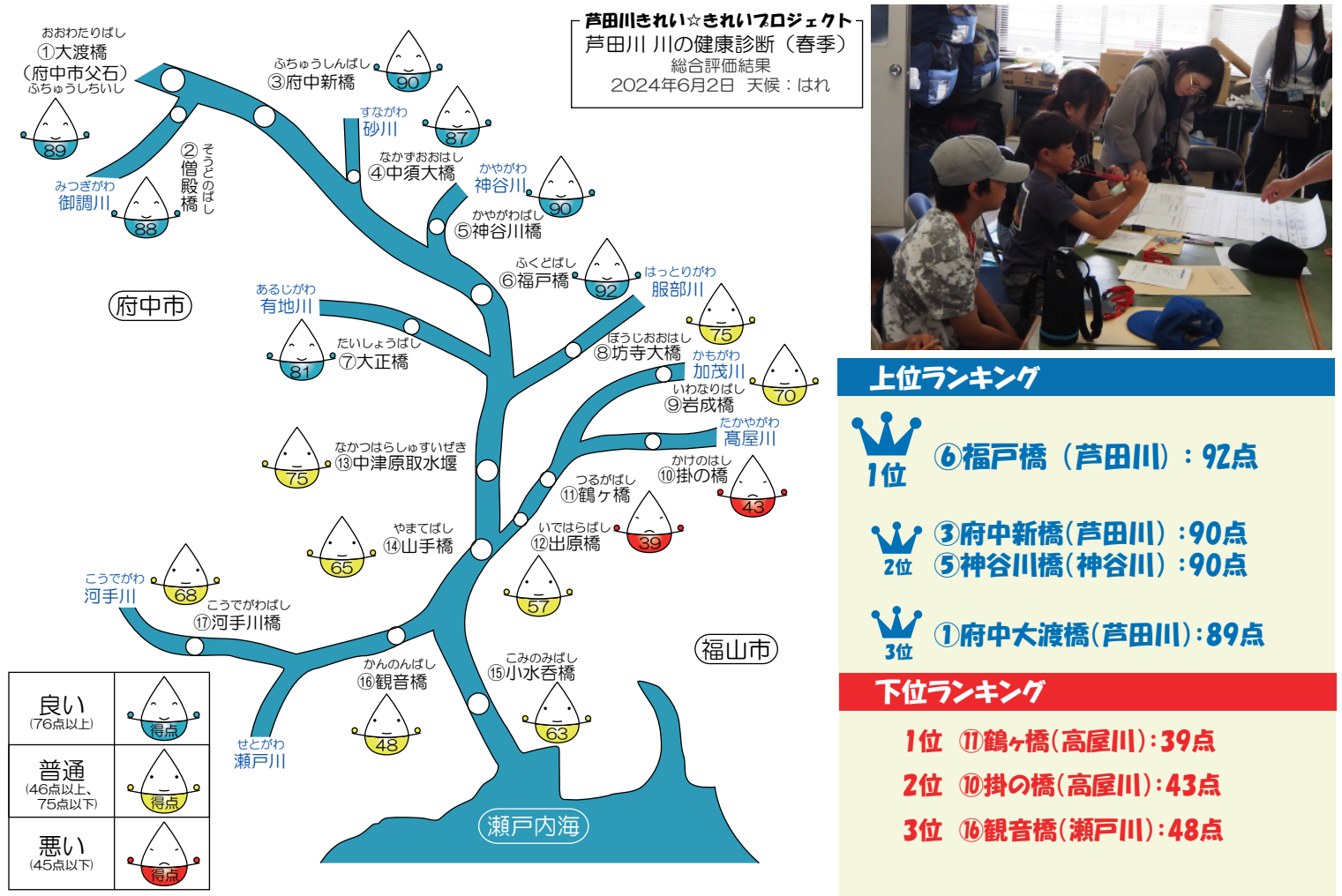
1

“芦田川 川の健康診断”を春、秋に開催

芦田川とその支川の17地点を対象に、川の水質、見ためなどを評価する“芦田川 川の健康診断”の春季調査を2024年6月2日(日)に、秋季調査を2024年11月13日(水)に開催しました。(参加者:春季スタッフのみ・秋季一般)
 調査は、地点毎に、水質チェック(COD、亜硝酸、りんのパックテストによる簡易水質測定)、感覚チェック(見た目や色、匂い、手触りなどによる評価)を行いました。
 また、調査後は、“芦田川見る視る館”にて、透視度の計測などを行うとともに、各地点の調査結果を集計しました。



2024年度 芦田川『川の健康診断 春季調査』総合評価結果

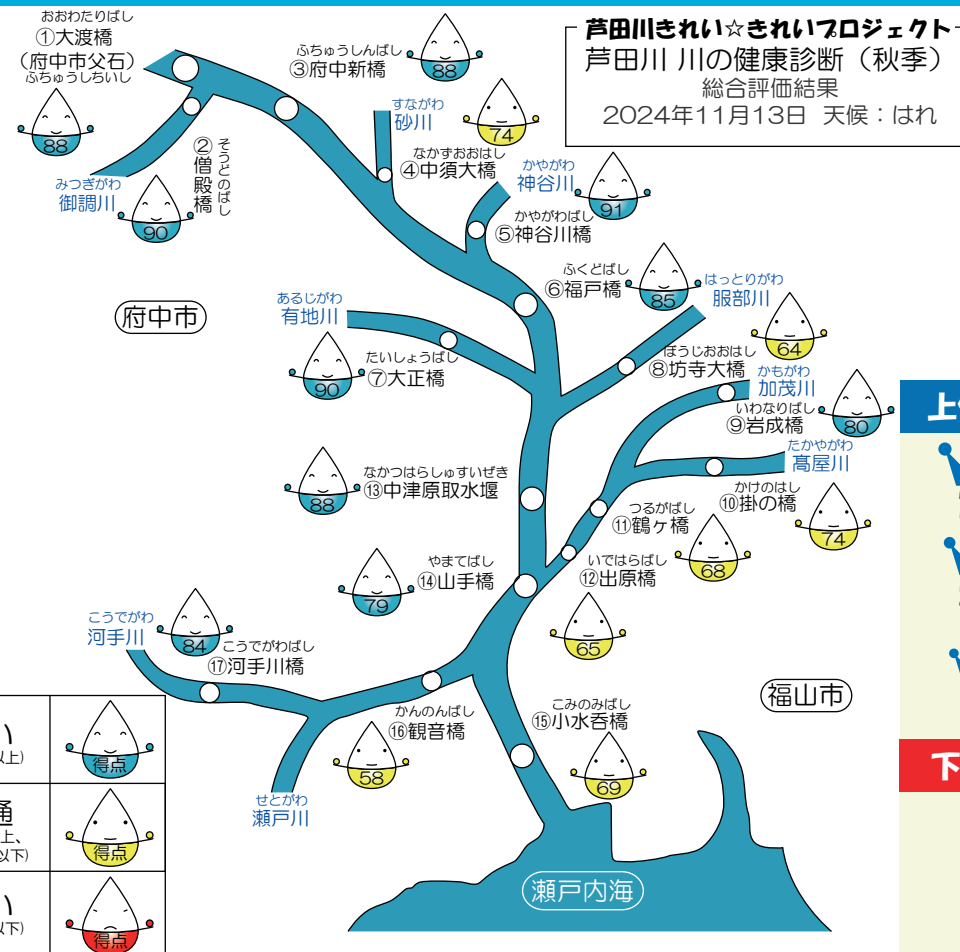


春季調査の結果まとめ

春季調査では、芦田川上流の調査地点である①府中大渡橋、支川御調川の②僧殿橋、中流の⑬中津原取水堰、支川神谷川の⑤神谷川橋などで比較的评价が高く、支川高屋川の⑩掛の橋、⑪鶴ヶ橋、支川瀬戸川の⑯観音橋などで評価が低い結果となりました。

今年は梅雨入りが遅いものの5月の降水量は前年より多く、調査日の週にもまとまった雨が降りました。降雨により水量は増加しましたが、攪乱による濁り等が発生したことで、中下流の総合評価が大幅に低下したと考えられます。なお、上流では前年より評価が高くなった地点もあり、支川でも比較的评价が高い傾向にあります。

2024年度 芦田川「川の健康診断 秋季調査」総合評価結果



上位ランキング

- 1位 ⑤神谷川橋 (神谷川): 91点
- 2位 ②僧殿橋 (御調川): 90点
⑦大正橋 (有地川): 90点
- 3位 ①府中大渡橋 (芦田川): 88点
③府中新橋 (芦田川): 88点
⑬中津原取水堰 (芦田川): 88点

下位ランキング

- 1位 ⑯観音橋 (瀬戸川): 58点
- 2位 ⑧坊寺大橋 (服部川): 64点
- 3位 ⑫出原橋 (高屋川): 65点

秋季調査の結果まとめ

秋季調査では、芦田川上流の調査地点である①府中大渡橋、②僧殿橋、③府中新橋、中流の⑬中津原取水堰、支川神谷川の⑤神谷川橋、支川有地川の⑦大正橋などで比較的评价が高く、支川服部川の⑧坊寺大橋、支川高屋川の⑫出原橋、支川瀬戸川の⑯観音橋などで評価が低い結果となりました。

府中大渡橋等の芦田川上流及び御調川、神谷川等の支川の評価が非常に良好でした。高屋川・瀬戸川は昨年度とほぼ同程度の「普通(46点以上)」評価であり、これら支川の合流以降は、本川の水質も落ちていることが分かります。総合的に勘案すると、本川及び支川の水質は良好であるといえます。

本年度調査全体の結果まとめ

本年度調査では、5月の降水量が多く濁り等が発生した春調査が低評価に、安定した気候が続いた秋調査では高評価という結果になりました。特に水量が保たれていた府中大渡橋や僧殿橋で、春・秋ともに高い評価となりました。一方、下流部で芦田川に合流する高屋川・瀬戸川の調査地点では、春・秋ともに低い評価となりました。

調査地点全体の傾向としては、上流の地点で比較的水質が良好であり、市街地を流れる支川(高屋川・瀬戸川等)の下流部や支川合流後で水質が悪くなる傾向であり、生活排水等の影響が大きいものと考えられます。

流域住民の皆さまに水環境改善へ関心を持っていただくため、「芦田川 きれい☆きれいプロジェクト」の一環として、流域の子どもたちを対象に、芦田川をフィールドとした体験学習会「芦田川 水辺の学び舎」を9月29日(日)に開催いたしました。

参加状況としては、一般参加者、AEMCスタッフなどを含め、総勢78名の参加となりました。

芦田川 府中大渡橋付近

出口川合流部付近



【アカザ】府 貴重種



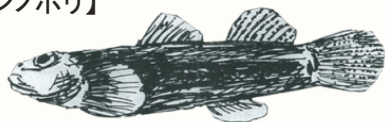
見つけたよ！
こんなさかな

【カマツカ】出



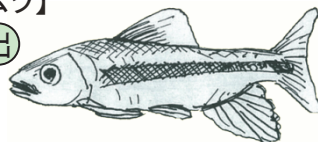
【カワヨシノボリ】

府



【カワムツ】

府 出

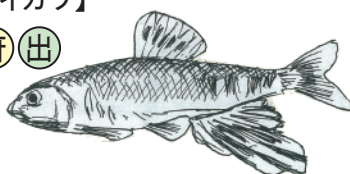


【ドンコ】出

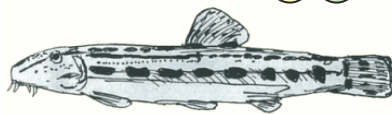


【オイカワ】

府 出



【オオシマドジョウ】府 出



府 府中大渡橋で見つかった魚 出 出口川で見つかった魚

そのほかに見つけた生物(府中大渡橋付近)

- ・カワゲラ ・ヒラタカゲロウ ・ナガレトビケラ
- ・オオシマトビケラ ・ヒラタドロムシ
- ・コオニヤンマ ・カワニナ ・ミズカマキリ
- ・スジエビ ・シジミ属 ・カゲロウ目
- ・ヒゲナガトビケラ ・ヌマエビ科
- ・サナエトンボ科 ・カワトンボ科

そのほかに見つけた生物(出口川合流部付近)

- ・カワゲラ ・オオシマトビケラ ・ヒラタドロムシ ・コオニヤンマ
- ・カワニナ ・ハグロトンボ ・シジミ属 ・スジエビ ・ギンヤンマ
- ・アメンボ ・ヒル ・サナエトンボ科 ・タニシ ・ヌマエビ科
- ・ヒゲナガカワトビケラ ・カゲロウ目 ・コヤマトンボ
- ・コシボソヤンマ ・シオカラトンボ属 ・プラナリア



昨年度に引き続き、一般参加者を交え実施された調査日は、天気も良く秋晴れの日でした。

府中大渡橋では貴重種のアカザや、様々な種類のいきものが確認されました。

両地点とも、昨年度と同等かやや多くの種類の魚や水生昆虫などが観察され、生物の生息できる水辺や川底の環境が保たれていることが確認出来ました。また、きれいな水を示す指標生物が多く観察されたことから、芦田川・出口川の水も良好であり、様々ないきものにとって棲みやすい環境であることが確認されました。

